

## H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	株式会社フォーラムエイト
ソフトウェア名	UC-win/Road、3D配筋CAD、Allplan
適用分野	BIM/CIM全般、i-Construction
適用フェーズ	予備設計、詳細設計、施工等

国交省			株式会社フォーラムエイト
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	UC-1設計ソフトからの3DA出力について対応予定。 3D配筋CADについても対応予定。
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	UC-1設計ソフト、3D配筋CAD、Allplan、UC-win/Roadから3DS、IFCファイルなどが出力可能。これらのファイルが使用できる情報共有システムで、3Dビューを活用した関係者間での共有が可能。
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。 （H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）	付与すべき属性情報の結果を受け、UC-1設計ソフトから3D配筋CADへ必要な属性情報の受け渡しと、IFC出力に対応予定。 また、Allplan用の属性マッピングファイルを提供予定。
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	3D配筋CADで3Dモデルを使用した数量算出が可能。 Allplanのレポート機能で数量の抽出が可能。 建設スイート会計システムにて工事費の算出が可能。
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	干渉チェック 3D配筋CADでは鉄筋の干渉チェックが可能。 Allplanでは鉄筋の干渉チェックおよびオブジェクトの干渉チェックが可能
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	UC-win/Roadで施工計画をスクリプト、シナリオを用いて動画を作成可能。 また、今後4Dシミュレーション機能に対応予定。
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。	UC-win/Roadで土石流解析、氾濫解析、津波解析、交通解析の結果を可視化した表現や、視認性確認、日照確認が可能。また、ドライブシミュレーターを使用した運転走行性の確認も可能。